



# マルチドメインネームマッピング検索の設定

## ONTAP 9

NetApp  
December 20, 2024

# 目次

マルチドメインネームマッピング検索の設定 .....	1
マルチドメインネームマッピングの検索を有効または無効にする .....	1
信頼できるドメインのリセットと再検出 .....	1
検出された信頼できるドメインに関する情報を表示する .....	2
信頼できるドメインの優先リスト内の信頼できるドメインの追加、削除、置換 .....	3
信頼できるドメインの優先リストに関する情報を表示する .....	4

# マルチドメインネームマッピング検索の設定

## マルチドメインネームマッピングの検索を有効または無効にする

マルチドメインネームマッピングの検索では、UNIX ユーザから Windows ユーザへのネームマッピングを設定するときに、Windows 名のドメイン部分にワイルドカード（\\*）を使用できます。名前のドメイン部分にワイルドカード（\*）を使用すると、ONTAPで、CIFS サーバのコンピュータアカウントが含まれるドメインと双方向の信頼関係が確立されているすべてのドメインを検索できるようになります。

### タスクの内容

双方向の信頼関係が確立されたすべてのドメインを検索する代わりに、信頼できるドメインのリストを設定することもできます。信頼できるドメインのリストを設定すると、ONTAPは双方向の信頼関係が確立された検出ドメインの代わりに、信頼できるドメインのリストを使用してマルチドメインネームマッピングの検索を実行します。

- マルチドメインネームマッピングの検索は、デフォルトで有効になっています。
- このオプションは、advanced権限レベルで使用できます。

### 手順

1. 権限レベルをadvancedに設定します。 `set -privilege advanced`
2. 次のいずれかを実行します。

マルチドメインネームマッピングの検索の設定	入力するコマンド
有効	<code>vserver cifs options modify -vserver vserver_name -is-trusted-domain-enum -search-enabled true</code>
無効にする	<code>vserver cifs options modify -vserver vserver_name -is-trusted-domain-enum -search-enabled false</code>

3. admin権限レベルに戻ります。 `set -privilege admin`

### 関連情報

[使用できるSMBサーバオプション](#)

## 信頼できるドメインのリセットと再検出

すべての信頼できるドメインを強制的に再検出することができます。これは、信頼できるドメインサーバが適切に応答しない場合や、信頼関係が変更された場合に役立ちます。ホームドメイン（CIFSサーバのコンピュータアカウントを含むドメイン）と双方向の信頼関係が確立されたドメインのみが検出されます。

## ステップ

1. コマンドを使用して、信頼できるドメインをリセットして再検出し `vserver cifs domain trusts rediscover` します。

```
vserver cifs domain trusts rediscover -vserver vs1
```

## 関連情報

[検出された信頼できるドメインに関する情報の表示](#)

# 検出された信頼できるドメインに関する情報を表示する

CIFSサーバのホームドメイン（CIFSサーバのコンピュータアカウントが含まれているドメイン）で検出された信頼できるドメインに関する情報を表示できます。この情報は、検出された信頼できるドメインと、検出された信頼できるドメインのリスト内でのそれらの順序を確認する場合に役立ちます。

## タスクの内容

ホームドメインと双方向の信頼関係が確立されたドメインのみが検出されます。ホームドメインのドメインコントローラ（DC）は、信頼できるドメインのリストをDCが決定した順序で返すため、リスト内のドメインの順序を予測することはできません。信頼できるドメインのリストを表示することで、マルチドメインネームマッピングの検索での検索順序を確認できます。

表示される信頼できるドメインの情報は、ノードおよびStorage Virtual Machine（SVM）別にグループ化されます。

## ステップ

1. コマンドを使用して、検出された信頼できるドメインに関する情報を表示します `vserver cifs domain trusts show`。

```
vserver cifs domain trusts show -vserver vs1
```

```
Node: node1
Vserver: vs1

Home Domain          Trusted Domain
-----
EXAMPLE.COM          CIFS1.EXAMPLE.COM,
                     CIFS2.EXAMPLE.COM
                     EXAMPLE.COM
```

```
Node: node2
Vserver: vs1

Home Domain          Trusted Domain
-----
EXAMPLE.COM          CIFS1.EXAMPLE.COM,
                     CIFS2.EXAMPLE.COM
                     EXAMPLE.COM
```

## 関連情報

[信頼できるドメインのリセットおよび再検出](#)

# 信頼できるドメインの優先リスト内の信頼できるドメインの追加、削除、置換

SMBサーバの信頼できるドメインの優先リストに対して信頼できるドメインを追加または削除したり、現在のリストを変更したりできます。信頼できるドメインの優先リストを設定すると、マルチドメインネームマッピングの検索を実行するときに、検出された双方向の信頼できるドメインの代わりにこのリストが使用されます。

## タスクの内容

- 信頼できるドメインを既存のリストに追加する場合は、新しいリストが既存のリストにマージされ、新しいエントリが末尾に追加されます。信頼できるドメインは、リスト内の順序で検索されます。
- 信頼できるドメインを既存のリストから削除する際にリストを指定しないと、指定したStorage Virtual Machine (SVM) の信頼できるドメインのリスト全体が削除されます。
- 信頼できるドメインの既存のリストを変更すると、新しいリストで上書きされます。



信頼できるドメインのリストには、双方向の信頼関係が確立されたドメインだけを入力してください。アウトバウンドまたはインバウンドの信頼ドメインを優先ドメインリストに入力することはできますが、マルチドメインネームマッピングの検索では使用されません。ONTAPは単方向ドメインのエントリをスキップし、リスト内の次の双方向の信頼関係が確立されたドメインに移動します。

## ステップ

1. 次のいずれかを実行します。

信頼できるドメインのリストに対して行う操作	使用するコマンド
信頼できるドメインをリストに追加する	<code>vserver cifs domain name-mapping-search add -vserver _vserver_name_ -trusted-domains FQDN, ...</code>
信頼できるドメインをリストから削除する	<code>vserver cifs domain name-mapping-search remove -vserver _vserver_name_ [-trusted-domains FQDN, ...]</code>
既存のリストを変更する	<code>vserver cifs domain name-mapping-search modify -vserver _vserver_name_ -trusted-domains FQDN, ...</code>

例

次のコマンドは、SVM vs1で使用される信頼できるドメインの優先リストに2つの信頼できるドメイン (cifs1.example.comおよびcifs2.example.com) を追加します。

```
cluster1::> vserver cifs domain name-mapping-search add -vserver vs1
-trusted-domains cifs1.example.com, cifs2.example.com
```

次のコマンドは、SVM vs1で使用されるリストから信頼できるドメインを2つ削除します。

```
cluster1::> vserver cifs domain name-mapping-search remove -vserver vs1
-trusted-domains cifs1.example.com, cifs2.example.com
```

次のコマンドは、SVM vs1で使用される信頼できるドメインのリストを変更します。元のリストが新しいリストに置き換えられます。

```
cluster1::> vserver cifs domain name-mapping-search modify -vserver vs1
-trusted-domains cifs3.example.com
```

関連情報

[信頼できるドメインの優先リストに関する情報の表示](#)

## 信頼できるドメインの優先リストに関する情報を表示する

信頼できるドメインの優先リストに含まれている信頼できるドメインに関する情報、およびマルチドメインネームマッピングの検索が有効な場合の信頼できるドメインの検索順序に関する情報を表示できます。自動検出された信頼できるドメインの優先リストを使用する代わりに、信頼できるドメインの優先リストを設定することもできます。

## 手順

1. 次のいずれかを実行します。

表示する情報	使用するコマンド
Storage Virtual Machine (SVM) 別にグループ化されたクラスタ内のすべての信頼できる優先ドメイン	<code>vserver cifs domain name-mapping-search show</code>
指定したSVMのすべての信頼できる優先ドメイン	<code>vserver cifs domain name-mapping-search show -vserver <i>vserver_name</i></code>

次のコマンドは、クラスタ上のすべての信頼できる優先ドメインに関する情報を表示します。

```
cluster1::> vserver cifs domain name-mapping-search show
Vserver          Trusted Domains
-----
vs1              CIFS1.EXAMPLE.COM
```

## 関連情報

[信頼できるドメインの優先リスト内の信頼できるドメインの追加、削除、または置換](#)

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。